## 自己資本の構成に関する開示事項 2025年9月末

【ひろぎんホールディングス・連結】 (百万円、%)

【ひろぎんホールディングス・連結】		(百万円、%)
項目	2025年9月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	501,455	482,614
うち、資本金及び資本剰余金の額	77,158	82,209
うち、利益剰余金の額	436,886	413,313
うち、自己株式の額(△)	4,375	5,69
うち、社外流出予定額(△)	8,214	7,21
うち、上記以外に該当するものの額	-	-
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△ 2,865	4,27
うち、為替換算調整勘定	2	Δ
うち、退職給付に係るものの額	△ 2,868	4,27
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	126	12
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	10,516	8,78
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	361	34
うち、適格引当金コア資本算入額	10,154	8,43
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、	_	_
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、	_	_
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 509,232	495,79
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	12,175	10,23
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	75	21
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	12,099	10,02
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	151	17
適格引当金不足額	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-
退職給付に係る資産の額	34,814	36,83
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	22	2
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 47,164	47,27
自己資本		
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ) 462,068	448,52
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	3,933,910	3,871,65
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-	-
うち、上記以外に該当するものの額	=	-
マーケット・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額	126,961	118,26
フロア調整額	-	-
リスク・アセット等の額の合計額	(二) 4,060,871	3,989,92
連結自己資本比率		
連結自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.37	11.2

【広島銀行·連結】 (百万円 %)

広島銀行・連結】			(百万円、%)
項目		2025年9月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)			
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		462,052	446,442
うち、資本金及び資本剰余金の額		85,208	85,208
うち、利益剰余金の額		376,844	361,234
うち、自己株式の額(△)		-	-
うち、社外流出予定額(△)		-	-
うち、上記以外に該当するものの額		-	-
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額		△ 2,865	4,27
うち、為替換算調整勘定		2	Δ
うち、退職給付に係るものの額		△ 2,868	4,27
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額		-	-
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額		-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		9,150	7,78
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		29	4
うち、適格引当金コア資本算入額		9,121	7,73
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、		_	_
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	_
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、			
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
コア資本に係る基礎項目の額	(イ)	468,337	458,49
コア資本に係る調整項目 (2)			
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額		11,651	9,71
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額		-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		11,651	9,71
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額		6	1
適格引当金不足額		-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額		-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額		-	-
退職給付に係る資産の額		34,814	36,83
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額		-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額		-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額		-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額		-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額		-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		-	-
コア資本に係る調整項目の額	(口)	46,472	46,55
自己資本			
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	421,864	411,93
リスク・アセット等 (3)			
信用リスク・アセットの額の合計額		3,889,342	3,840,74
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		-	=
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー		-	=
うち、上記以外に該当するものの額		=	=
マーケット・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額		-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額		112,320	104,86
フロア調整額		-	=
リスク・アセット等の額の合計額	(=)	4,001,662	3,945,61
車結自己資本比率			

【広島銀行·単体】 (百万円、%)

【広島銀行・単体】			(百万円、%)
項目		2025年9月末	2024年9月末
コア資本に係る基礎項目 (1)			
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額		461,885	446,29
うち、資本金及び資本剰余金の額		85,208	85,20
うち、利益剰余金の額		376,676	361,08
うち、自己株式の額(△)		-	-
うち、社外流出予定額(△)		-	-
うち、上記以外に該当するものの額		-	-
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額		-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額		9,148	7,41
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額		29	4
うち、適格引当金コア資本算入額		9,118	7,37
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、			
コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、			
工地行計画面积と行計画直前が破得画額が差額が四十五パーピンドに行当する額がりら、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-	-
コア資本に係る基礎項目の額	(1)	471,033	459 71
コア資本に係る調整項目 (2)	(-1)	471,033	453,71
#形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額		11,648	9,70
無形向足負性(12 9 2 9 2 2 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		11,048	3,10
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額		11 649	0.70
		11,648	9,70
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額		-	
適格引当金不足額		-	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額		-	
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額			
前払年金費用の額		37,682	32,56
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額		-	
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額		-	
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額		-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		-	=
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		-	=
特定項目に係る十五パーセント基準超過額		-	=
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額		-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額		-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額		-	
コア資本に係る調整項目の額	(口)	49,331	42,26
自 <mark>己資本</mark>			
自己資本の額 ((イ) - (ロ))	(ハ)	421,702	411,44
リスク・アセット等(3)			
信用リスク・アセットの額の合計額		3,917,260	3,848,53
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		-	-
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー		-	
うち、上記以外に該当するものの額		-	-
マーケット・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額		=	=
オペレーショナル・リスク相当額の合計額をハパーセントで除して得た額		110,667	103,29
フロア調整額		-	-
リスク・アセット等の額の合計額	(=)	4,027,927	3,951,82
自己資本比率			
自己資本比率((ハ)/(ニ))		10.46	10.4